2026年11月13日

各　位

会社名　株式会社kubell
代表者名　代表取締役兼社長　上級執行役員CEO　山本　正喜
（コード番号：4448　東証グロース）
問い合わせ先　取締役兼上級執行役員CFO　井上　直樹
ir@kubell.com

2026年12月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

直近の業績動向及び今後の見通しを踏まえ、2026年8月14日に公表いたしました2026年12月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1．当期の業績予想数値の修正（2026年1月1日～2026年12月31日）

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	10,768 ～10,958	1,500 ～1,700	620 ～918	615 ～913	456 ～753	10.79 ～17.82
今回修正予想（B）	10,958	1,704	942	942	654	15.46
増減額（B－A）	0 ～190	4 ～204	24 ～322	29 ～327	△99 ～198	△2.36 ～4.67
増減率（%）	0 ～1.8	0.2 ～13.6	2.6 ～51.9	3.2 ～53.2	△13.1 ～43.4	△13.2 ～43.3
（ご参考）前期実績（2025年12月期）	9,529	1,371	485	458	215	5.14

2．修正の理由

当社グループの中期経営計画では2026年12月期までに中小企業No.1　BPaaSカンパニーのポジションを確立し、長期的には中小企業市場における圧倒的なシェアを背景に、あらゆるビジネスの起点となるビジネス版スーパーアプリとしてプラットフォーム化していくことを目標としております。2024年12月期から2026年12月期では、中小企業No.1 BPaaSカンパニーの目標に向けてグループ全体の成長を加速させると共に、利益を生み出せる体制の構築を進めてまいりました。

中期目標としては2024年12月期から2026年12月期までの連結売上高CAGR30%以上、2026年12月期において売上高150億円、EBITDAマージン10～15%を掲げてまいりました。

上記方針に基づき、2026年12月期においてはビジネスチャットツール「Chatwork」の普及とBPaaSへの投資と利益を生み出す体制の構築に取り組むことで、引き続き高い成長率の維持と収益性の改善を同時に進めております。

今回、通期の業績見通しの確度が高まったことを受け、通期業績予想を金額レンジでの開示から単一金額での開示に修正いたしました。通期の業績見通しは以下の通りでございます。

単位：百万円	2025年12月期 実績	2026年12月期 予想	前年同期比
売上高	9,529	10,958	+15.0%
売上総利益	6,603	7,707	+16.7%
EBITDA	1,371	1,704	+24.3%
営業利益	485	942	+94.2%
経常利益	458	942	+105.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	215	654	+204.1%

（注）上記の業績予想につきましては、現時点で当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によりこれら予想数値とは異なる場合があります。

以上